



まさかに備え、大切な人と「もしものための話し合い」 アドバンス・ケア・プランニング (Advance Care Planning)

万が一のときに備えて、自分の大切にしていること、どのような医療やケアを受けたいか・受けたくないかについて、自分自身で考えたり、家族や大切な人たちと話し合ったりする過程、一部始終を「アドバンス・ケア・プランニング(Advance Care Planning 以下ACP)」と言います。

昨今、国民への普及を目的に「人生会議」という愛称になったことも御存じの方が多いかと思います。

ACPにはこんな効果があります。

- 患者の事前の意向に沿った医療ケア
- 患者と家族の満足度の向上
- エンドオブライフ・ディスカッションの増加
- 死亡直前の化学療法やICUでの死亡の減少
- 遺族の不安や抑うつ減少

Momison RS et al. J Am Geriatr Soc.2005
 Detering KM et al. BMJ.2010
 Brinkman-Stoppelenburg A et al. Palliat Med.2014

TOPIX2 新電子カルテで導入されるACPの問診内容

新電子カルテ更新に伴い、患者基本に「ACP」が追加されます。令和2年4月職員933名対象に「ACP」の問診内容についてアンケート調査を実施しました。回収率は18.8%でした。「ACPの問診内容」について、「現場で活用できる」と回答したのは90.3% (158名)、活用についての意見では以下の内容が挙げられました。

*患者が、イメージビデオや冊子などの視覚的に理解しやすいものがあればいい。

*延命治療、臓器提供等のACPのメリット・デメリットなど、基本的な知識やイメージがないままでの問診は正確ではない。この取り組みを応援する。

尚、ACPの問診のタイミング、院内手順等について改めて各病棟に発信していきます。アンケートにご協力いただきましてありがとうございました。

TOPIX1 青森県の人口減少と高齢化率

図1に示すように今後、青森県の人口は全医療圏で減少していきます。一方、高齢化率は、図2に示すように全医療圏で高くなっていきます。多死社会を迎える今、患者さんの身近に家族がいないケースは増えていませんか。患者さんだけでなく、ご自身の家族を含めて万が一に備えて準備しておくことが大事になっています。

図1 青森県の2次医療圏における総人口の将来推計(数値)

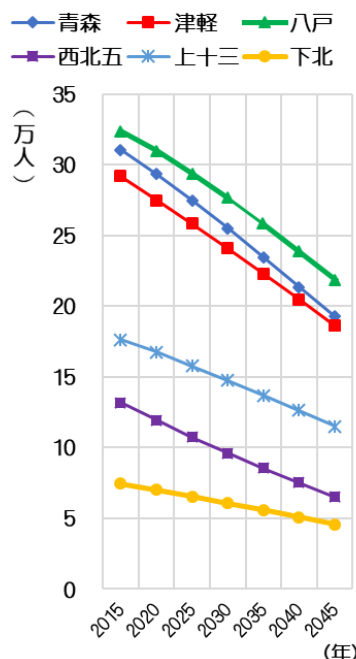


図2 青森県の2次医療圏における75歳以上人口の将来推計(数値)

